

発行日：2017年10月31日

担当：ジャパンフラワーセレクション実行協議会事務局
(一般財団法人日本花普及センター)



ジャパンフラワーセレクション2017-2018 ガーデニング部門 夏秋審査会 審査結果の発表

全国規模の花き新品種コンテスト「ジャパンフラワーセレクション」のガーデニング部門では、このたび、春に花壇やコンテナ等で楽しむことができる品種を選定する夏秋審査会において、26品種の審査を実施し、22品種を推奨品種として選定しました。

審査は、千葉大学環境健康フィールド科学センター（千葉県柏市：千葉大学柏の葉キャンパス）にあるJFSトライアル花壇において栽培試験を実施し、生育過程の観察を行いました。

選定された品種は、認定登録を行うことにより花の業界が推奨する品種として「JFS受賞マーク」を表示して販売されることとなります。

なお、これらの中から、総合的に優秀な品種に与えられるベスト・フラワー（優秀賞）並びに新しい可能性を感じさせ、特別なインパクトを持つ品種に与えられる特別賞の受賞品種も決定いたしました。

【実施概要】

■審査会日時:

夏秋審査会① 2017年 7月11日（火）14:00～17:00

夏秋審査会② 2017年 8月16日（水）13:30～18:30

夏秋審査会③ 2017年10月 3日（木）13:30～17:00

■開催場所：千葉大学環境健康フィールド科学センター
(千葉県柏市)

■選定品種：ガーデニング部門 夏秋審査対象26品種

■入賞品種：22品種

【審査委員】

国内の花き業界を代表する学識者、ガーデンデザイナー、花の市場関係者などが、公正な視点で専門的に審査を行いました。

福永 哲也 豊明花き(株) 代表取締役社長（ガーデニング部門長）

尾崎 明弘 (株)オザキフラワーパーク 代表取締役

杉井 志織 はなぐみ 代表

田中 義一 (株)フラワーオークションジャパン 営業本部開発室課長

山口 まり (一社)日本ハンギングバスケット協会 理事

渡辺 均 千葉大学環境健康フィールド科学センター 准教授



<ジャパンフラワーセレクション実行協議会事務局>

TEL 03-3664-8739

FAX 03-3664-8743

E-mail: jfpc@jfpc.or.jp

ホームページ: <http://www.jf-selections.net>



<ジャパンフラワーセレクションとは>

ジャパンフラワーセレクション（JFS）とは、2006年4月からスタートした日本で唯一の統一的花きの新品種認定事業です。『いい花の新基準。』を合言葉に、毎年、次々と市場に出回る花きの新品種のなかから、生活者へ自信をもって推奨できる新品種を公正な立場で審査し、業界として推奨できる品種を選定して「ジャパンフラワーセレクション受賞品種」として発表しています。

審査は、切花部門、鉢物部門、ガーデニング部門の3部門で行われています。これら受賞品種は、認定登録を経て専用のロゴマーク（JFSマーク）を付けて販売されています。

なお、各審査会で選定されるベスト・フラワー（優秀賞）は、年末に開催される中央審査委員会でフラワー・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）の選考会にノミネートされます。

<JFS受賞マークについて>



このマークが、生活者に「これが優れた新品種です」とお知らせするJFS受賞マークです。日本語の「花」と英語の「Flower」をかけあわせて新しい花の固有性を表現しました。世界の新品種コンテストとしては、北米を中心とした全世界的なオールアメリカセレクション、ヨーロッパを中心としたフローロ・セレクトがありますが、アジア発、日本発の新品種のコンテストは、このジャパンフラワーセレクションがはじめてです。

ジャパンフラワーセレクション ガーデニング部門のご案内

<冬春審査会 出品募集中！>

審査圃場：千葉大学環境健康フィールド科学センター（千葉県柏市）

ガーデニング部門の審査は、数か月にわたりJFSの審査花壇（千葉大学）にて栽培記録つけ生育経過を観察し行います。苗物としての販売物はガーデニング部門にご出品ください。

ポット苗の
ご出品はこちらへ！

■出品料：1品種30,000円（税別）

*以下①②の条件に該当する方は、1品種10,000円（税別）です。

（減免対象者が2015年4月1日から一部変わりました）

①（一財）日本花普及センターの賛助会員のうち団体会員A
（都道府県、各種団体、企業、協同組合）

もしくは団体会員Aである都道府県内の生産育種農家。

② 全国新品種育成者の会の会員

*千葉大への苗の搬入可能日は、毎週火曜日午前中となります。

（苗の納入日は変更になる場合があります）

■JFS出品対象品種

① 日本での種苗登録もしくは本格的な販売開始から概ね5年以内の品種

② 日本における商業的な生産・流通・販売が期待されるもの（海外で育種されたものも含む）

③ 種苗法や遺伝子組み換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律等の法令違反を犯していない品種であること。

■JFS出品申請者資格

以下のいずれかに該当する方が出品可能です。

① 品種の育成者権（同品種を業として扱う権利）を持つ者

② 契約により日本における販売代理を持つ者

（海外で育成された品種も出品可能）



▲審査圃場、屋根付き施設の様子

お問い合わせはこちらへ

<ジャパンフラワーセレクション実行協議会 事務局>

TEL 03-3664-8739 FAX 03-3664-8743

E-mail: jfpc@jfpc.or.jp ホームページ: <http://www.jf-selections.net>



1. フラワー・オブ・ザ・イヤー(最優秀賞)

各部門の中で最も優れた1品種に授与します。各審査会での「ベスト・フラワー(優秀賞)」(10点満点の8.0点以上)から、得点、授賞に対する評価、ガーデニング部門は栽培状況データなども踏まえて、11月下旬の中央審査委員会での協議審査の結果、切花・鉢物・ガーデニングの各部門で各1品種ずつ選ばれます。

2. ベスト・フラワー(優秀賞)

各部門で、姿、形、デザインに加えて栽培のしやすさなど全体的にバランスのよい優れた品種に授与されます。各審査会でのジャパンフラワーセレクション入賞品種の中から10点満点の8.0点以上と採点された品種です。

3. ジャパンフラワーセレクション特別賞

各審査会での受賞品種(10点満点の7.0点以上)の中から、花の業界にとって意義があり、新しい可能性を感じさせ、特別なインパクトを与えた品種に授与されます。なお、以下の賞が設定されていますが、該当する品種がない年は、授与されません。

「モーストジョイ特別賞」

気分をデザインする品種。それがあただけで、喜びに満ち、楽しい気分などをもたしてくれる品種に授与されます。

「ニューバリュー特別賞」

花の新たな価値観をデザインする品種。今までにない新しい価値観を感じさせ、フラワーデザイン、ガーデンデザインの多様性や可能性を広げて花文化の未来に貢献する品種に授与されます。

「ニュースタイル特別賞」

斬新で優れた形状をもつ品種です。これまでになかった新たな花型、葉型、草姿等を持ち、業界にインパクトを与えた品種に授与されます。

「グッドパフォーマンス特別賞」

これまで以上に比べて、生産者にとっても消費者にとっても扱い易く、育てやすい品種に授与されます。

「ブリーディング特別賞」

育種技術により花の芸術性・商品性を高めた品種です。これまでになかった価値観や形質を生み出し、育種の開発コンセプト、育種技術力が優秀で、デザイン・芸術性、商品性の高い品種に授与されます。

「カラークリエイティブ特別賞」

花の色の流行を先取りした品種です。人の色彩の感性に訴えて、新たな花色の創造を期待させる品種に授与されます。

「フレグランス特別賞」

芳香がうるわしく、香りのデザインが優れた品種に授与されます。

「ジャパニデザイン特別賞」

日本らしさを持ち、日本の美意識やデザイン性を感じさせる品種に授与されます。

「ライフデザイン特別賞」

高いデザイン性と、消費者にとって扱いやすい特性を持ち、それがあただけで日々の生活を楽しませ、また、生活空間を豊かにしてくれる品種に授与されます。

「モニター特別賞」

春・秋審査会での一般消費者や買参人等のモニター調査の結果、JFS受賞品種のうち各部門でトップとなった品種に授与されます。(切花部門・鉢物部門のみ)

4. ジャパンフラワーセレクション入賞

各審査会で、5名以上の審査員で構成する審査団が採点した結果、10点満点の平均点が7.0以上の品種に授与されます。入賞品種は、上記の1~3の候補となります。

ジャパンフラワーセレクションに入賞した品種は、認定登録を行うことで専用ロゴマークを利用した販売活動等が可能になります。(マークの使用期限はありません) ロゴマークを使用することで「花業界が推奨する品種」として他との差別化を図ることができます。JFS認定ロゴマークを利用し、入賞品種のPRIにご活用ください。



ベスト・フラワー（優秀賞）〔カラークリエイト特別賞 同時受賞〕



品目名 : ペチュニア
 品名 : 妖精のチュチュ
 アンティークアイボリー
 受賞者 : 松原園芸(群馬県)
 育成者 : 松原紀嘉
 審査講評 : 淡いイエローベージュの花弁で、

花の中心に向かってパープル系のグラデーションが美しい覆輪模様の品種。分枝性も高く、ボリュームたっぷりに育つ。ピンチをしたほうがまとまりが良いが、比較的誰にでも育てやすい。

涼しげな色合い、花の縁がひらひらと波立ったかわいらしさとその印象に合った花数、立体的な草姿、株の強健さなど、消費者におすすめできるポイントが多く、ベスト・フラワー(優秀賞)、カラークリエイト特別賞を受賞した。



▲定植後6日の屋根付き施設での様子 (5/1撮影)



▲定植後38日の屋根付き施設での様子 (6/2撮影)



▲定植後87日の屋根付き施設での様子 (7/21撮影) * 切り戻し後2日



▲定植後154日の屋根付き施設での様子 (9/26撮影)



▲定植後6日の露地花壇・群落植栽の様子 (5/1撮影)



▲定植後38日の露地花壇・群落植栽の様子 (6/2撮影)



▲定植後84日の露地花壇・群落植栽の様子 (7/18撮影)

ベスト・フラワー（優秀賞） [モーストジョイ特別賞 同時受賞]



品目名 : アメリカフヨウ
 品 種 名 : タイタンビカス エルフ
 受賞者 : 株式会社赤塚植物園(三重県)
 育成者 : 倉林雪夫
 審査講評 : 従来のタイタンビカスの白色品種「ピーチホワイト」にはあった、花の中心部分の「目」がないタイプ。クリアな白色が一層引き立つ。
 株の分枝は良く、低い位置から開花し、安定した茎にバランスよく蕾が次々に着く。節間が短く、株は大きくなりすぎない。下枝の折れも従来品種より改善されているようだ。
 直径20cmを超える丸弁の大輪の花は、夏花壇に賑わいを作る。
 夏花壇で抜群の存在感を発揮する品種として、ベスト・フラワー（優秀賞）とモーストジョイ特別賞を受賞。



▲定植後6日の露地花壇での様子 (5/15撮影)



▲定植後42日の露地花壇での様子 (6/20撮影)



▲定植後70日の露地花壇での様子 (7/18撮影)



▲定植後87日の露地花壇での様子 (8/4撮影)



▲定植後104日の露地花壇での様子 (8/21撮影)



ベスト・フラワー（優秀賞） [モーストジョイ特別賞 同時受賞]



品目名 : アメリカフヨウ
 品種名 : タイタンビカス ネオン
 受賞者 : 株式会社赤塚植物園(三重県)
 育成者 : 倉林雪夫
 審査講評 : 今期同時にエントリーしていたタイタンビカス エルフより若干花径が小さいサイズの桃紅色大輪品種。花の中心部がふわっと光を透かしたように見える立体感のある赤色。株はエルフと同じように2mを超え見上げるほどのサイズになり、夏花壇に賑わいを作る。枝折れについても従来品種より改善されている。夏花壇で抜群の存在感を発揮する品種として、ベスト・フラワー（優秀賞）とモーストジョイ特別賞を受賞。



▲定植後6日の露地花壇での様子 (5/15撮影)



▲定植後42日の露地花壇での様子 (6/20撮影)



▲定植後70日の露地花壇での様子 (7/18撮影)



▲定植後87日の露地花壇での様子 (8/4撮影)



▲定植後104日の露地花壇での様子 (8/21撮影)



▲定植後119日の露地花壇での様子 (9/5撮影)

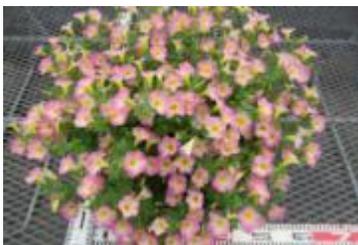
ベスト・フラワー（優秀賞）



品目名：ペチュニア
 品種名：マドンナの宝石 ピンクイエロー
 受賞者：有限会社村岡オーガニック（鳥取県）
 育成者：村岡昌美
 育成者権者：村岡昌美
 審査講評：ピンクイエローの小花が多く着き、成長も早く、草姿もまとまる。切戻しを行うことで秋まで開花する。ボリューム感もあり、1株でかなり大きく育てることもできるので、ランドスケープデザインの中でも活用が期待できる品種。また、コンテナ栽培でも草姿が自然とまとまり、花を休めることなく連続的に開花する。ベスト・フラワー（優秀賞）受賞。



▲定植後3日の屋根付き施設での様子（5/19撮影）



▲定植後41日の屋根付き施設での様子（6/26撮影）



▲定植後66日の屋根付き施設での様子（7/21撮影）
*7/20ピンチ



▲定植後140日の屋根付き施設での様子（9/26撮影）



▲定植後3日の露地花壇・群落植栽の様子（5/19撮影）



▲定植後20日の露地花壇・群落植栽の様子（6/5撮影）



▲定植後35日の露地花壇・群落植栽の様子（6/20撮影）



▲定植後63日の露地花壇・群落植栽の様子（7/18撮影）

ベスト・フラワー（優秀賞）

[グッドパフォーマンス特別賞

ニューバリュー特別賞・ブリーディング特別賞同時受賞]



品目名 : スカエボラ
 品種名 : サンク・エール ディープブルー
 受賞者 : サントリーフラワーズ株式会社(東京都)
 育成者 : Andrew Bernuetz
 Mirza Mohammed Shoaib

育成者権者 : サントリーフラワーズ株式会社

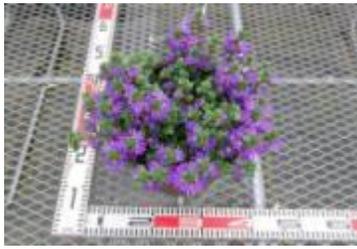
審査講評 : 水切れに比較的強く、ピンチも不要で耐暑性、連続開花性が従来のスカエボラより優れている。農薬を使わなくとも虫も着かず、園芸初心者でも失敗しにくい。長期にわたり手間の少ないパフォーマンスが素晴らしいスカエボラ。

暑い時期は多少花数が減ることはあったが完全に花が休んでしまうことはなく、観賞に値する範囲。節間が伸びて株元が空いてしまうことの多いスカエボラだが、このシリーズはムラなく全体に花が咲く。ディープブルーは色褪せることなく、鮮やかな発色で、太陽の下で一層魅力を発揮した。

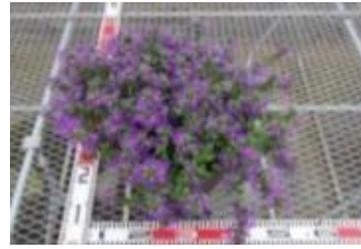
シリーズでの色のバリエーションもあり、新たな夏の定番となりうる素晴らしい品種として、ベスト・フラワー（優秀賞）とグッドパフォーマンス特別賞、ニューバリュー特別賞、ブリーディング特別賞を同時受賞。



▲定植後3日の屋根付き施設での様子 (5/19撮影)



▲定植後41日の屋根付き施設での様子 (6/26撮影)



▲定植後80日の屋根付き施設での様子 (8/4撮影)



▲定植後133日の屋根付き施設での様子 (9/26撮影)



▲定植後3日の露地花壇・群落植栽の様子 (5/19撮影)



▲定植後35日の露地花壇・群落植栽の様子 (6/20撮影)



▲定植後76日の露地花壇・群落植栽の様子 (7/31撮影)



▲定植後126日の露地花壇・群落植栽の様子 (9/19撮影)

ベスト・フラワー（優秀賞）

[グッドパフォーマンス特別賞

ニューバリュー特別賞・ブリーディング特別賞同時受賞]



品目名 : スカエボラ
 品種名 : サンク・エール ピンク
 受賞者 : サントリーフラワーズ株式会社(東京都)
 育成者 : Andrew Bernuetz

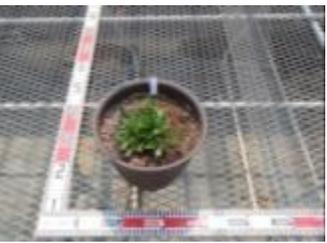
Mirza Mohammed Shoaib

育成者権者: サントリーフラワーズ株式会社

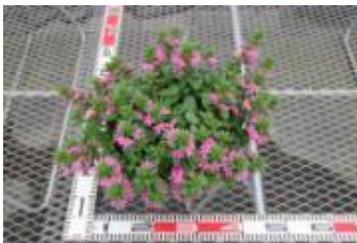
審査講評: 水切れに比較的強く、ピンチも不要で耐暑性、連続開花性が従来のスカエボラより優れている。農薬を使わなくとも虫も着かず、園芸初心者でも失敗しにくい。長期にわたり手間の少ないパフォーマンスが素晴らしいスカエボラ。

暑い時期は多少花数が減ることはあったが完全に花が休んでしまうことはなく、観賞に値する範囲。節間が伸びて株元が空いてしまうことの多いスカエボラだが、このシリーズはムラなく全体に花が咲く。ピンク色も色褪せもなく、安定した発色。葉と花色の対比も良かった。

シリーズでの色のバリエーションもあり、新たな夏の定番となりうる素晴らしい品種として、ベスト・フラワー（優秀賞）とグッドパフォーマンス特別賞、ニューバリュー特別賞、ブリーディング特別賞を同時受賞。



▲定植後3日の屋根付き施設での様子 (5/19撮影)



▲定植後41日の屋根付き施設での様子 (6/26撮影)



▲定植後80日の屋根付き施設での様子 (8/4撮影)



▲定植後133日の屋根付き施設での様子 (9/26撮影)



▲定植後3日の露地花壇・群落植栽の様子 (5/19撮影)



▲定植後35日の露地花壇・群落植栽の様子 (6/20撮影)



▲定植後76日の露地花壇・群落植栽の様子 (7/31撮影)



▲定植後126日の露地花壇・群落植栽の様子 (9/19撮影)

ベスト・フラワー（優秀賞）

[グッドパフォーマンス特別賞

ニューバリュー特別賞・ブリーディング特別賞同時受賞]



品目名 : スカエボラ
 品種名 : サンク・エール ホワイト
 受賞者 : サントリーフラワーズ株式会社(東京都)
 育成者 : Andrew Bernuetz

Mirza Mohammed Shoaib

育成者権者 : サントリーフラワーズ株式会社

審査講評 : 水切れに比較的強く、ピンチも不要で耐暑性、連続開花性が従来のスカエボラより優れている。農薬を使わなくとも虫も着かず、園芸初心者でも失敗しにくい。長期にわたり手間の少ないパフォーマンスが素晴らしいスカエボラ。

暑い時期は多少花数が減ることはあったが完全に花が休んでしまうことはなく、観賞に値する範囲。節間が伸びて株元が空いてしまうことの多いスカエボラだが、このシリーズはムラなく全体に花が咲く。ホワイトは這性が強く、花壇でカーペット状に広がるデザインに有効。シリーズでの色のバリエーションもあり、新たな夏の定番となりうる素晴らしい品種として、ベスト・フラワー（優秀賞）とグッドパフォーマンス特別賞、ニューバリュー特別賞、ブリーディング特別賞を同時受賞。



▲定植後21日の屋根付き施設での様子 (6/6撮影)



▲定植後41日の屋根付き施設での様子 (6/26撮影)



▲定植後80日の屋根付き施設での様子 (8/4撮影)



▲定植後133日の屋根付き施設での様子 (9/26撮影)



▲定植後3日の露地花壇・群落植栽の様子 (5/19撮影)



▲定植後35日の露地花壇・群落植栽の様子 (6/20撮影)



▲定植後76日の露地花壇・群落植栽の様子 (7/31撮影)



▲定植後126日の露地花壇・群落植栽の様子 (9/19撮影)

ベスト・フラワー（優秀賞） [グッドパフォーマンス特別賞 ニューバリュー特別賞・ブリーディング特別賞同時受賞]



品目名 : スカエボラ
 品種名 : サンク・エール ライトブルー
 受賞者 : サントリーフラワーズ株式会社(東京都)
 育成者 : Andrew Bernuetz
 Mirza Mohammed Shoaib

育成者権者 : サントリーフラワーズ株式会社
 審査講評 : 水切れに比較的強く、ピンチも不要で耐暑性、連続開花性が従来のスカエボラより優れている。農薬を使わなくとも虫も着かず、園芸初心者でも失敗しにくい。長期にわたり手間の少ないパフォーマンスが素晴らしいスカエボラ。

暑い時期は多少花数が減ることはあったが完全に花が休んでしまうことなく、観賞に値する範囲。節間が伸びて株元が空いてしまうことの多いスカエボラだが、このシリーズはムラなく全体に花が咲く。爽やかなライトブルーは他の品種より若干ボリュームが少なかったが、寄せ植えやハンギングバスケットに利用しても組み合わせやすい。

シリーズでの色のバリエーションもあり、新たな夏の定番となりうる素晴らしい品種として、ベスト・フラワー（優秀賞）とグッドパフォーマンス特別賞、ニューバリュー特別賞、ブリーディング特別賞を同時受賞。



▲定植後21日の屋根付き施設での様子 (6/6撮影)



▲定植後55日の屋根付き施設での様子 (7/10撮影)



▲定植後115日の屋根付き施設での様子 (9/8撮影)



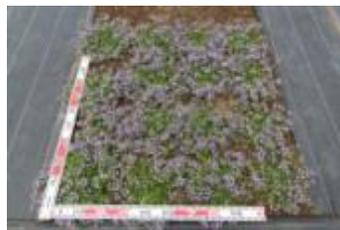
▲定植後133日の屋根付き施設での様子 (9/26撮影)



▲定植後3日の露地花壇・群落植栽の様子 (5/19撮影)



▲定植後35日の露地花壇・群落植栽の様子 (6/20撮影)



▲定植後63日の露地花壇・群落植栽の様子 (7/18撮影)



▲定植後126日の露地花壇・群落植栽の様子 (9/19撮影)

ベスト・フラワー（優秀賞）[ニュースタイル特別賞、カラークリエイト特別賞同時受賞]



品目名 : ニチニチソウ
 品種名 : ノブレスチュチュ
 受賞者 : 北島園芸(奈良県)
 育成者 : 北島 治
 審査講評 : フリル状花卉の深い赤色の独創的なニチニチソウ。花数で見せるというより、花の存在感が際立つ品種で、花の間から見える葉も艶やかで美しい。

独特な花型、新規性だけでなく株の強健さもあった。今年は雨が多かったが、枯死する株もなく、また、花ガラが葉に貼りついてカビが発生することもなく、セルフクリーニング性も認められた。

個性的な花を求める園芸中級者以上の方にも喜ばれる品種。ベスト・フラワー（優秀賞）とニュースタイル特別賞、カラークリエイト特別賞を同時受賞。



▲定植後14日の屋根付き施設での様子 (6/6撮影)



▲定植後7日の屋根付き施設での様子 (7/7撮影)



▲定植後73日の屋根付き施設での様子 (8/4撮影)



▲定植後126日の屋根付き施設での様子 (9/26日撮影)



▲定植後13日の露地花壇・群落植栽の様子 (6/13撮影)



▲定植後41日の露地花壇・群落植栽の様子 (7/3撮影)



▲定植後69日の露地花壇・群落植栽の様子 (7/31撮影)



▲定植後112日の露地花壇・群落植栽の様子 (9/5撮影)

ベスト・フラワー（優秀賞） [グッドパフォーマンス特別賞 同時受賞]



品目名 : ニチニチソウ
 品種名 : フェアリースター コーラルピンク
 受賞者 : サントリーフラワーズ株式会社(東京都)
 育成者 : 山田 将弘
 育成者権者 : サントリーフラワーズ株式会社
 審査講評 : 極小輪のニチニチソウ。分枝が良く株のボリューム、花数、連続開花性、ともに申し分がなく、パフォーマンスが高い。コーラルピンクに黄色のアイが入る。遠方から見てもインパクトがある。

分枝した枝の高さに若干のばらつきが出るが、こんもり丸く仕上がるタイプとは違うが、ガーデンデザインの中で他の植物に自然に馴染む使い方が出来る。

開花が始まってから長期間に渡って楽しめ、誰にでも育てやすい品種としてベスト・フラワー（優秀賞）とグッドパフォーマンス特別賞を同時受賞した。



▲定植後14日の屋根付き施設での様子 (6/26撮影)



▲定植後45日の屋根付き施設での様子 (7/7日撮影)



▲定植後73日の屋根付き施設での様子 (8/4撮影)



▲定植後126日の屋根付き施設での様子 (9/26撮影)



▲定植後13日の露地花壇・群落植栽の様子 (6/5撮影)



▲定植後41日の露地花壇・群落植栽の様子 (7/3撮影)



▲定植後69日の露地花壇・群落植栽の様子 (7/31撮影)



▲定植後112日の露地花壇・群落植栽の様子 (9/5撮影)

ベスト・フラワー（優秀賞） [グッドパフォーマンス特別賞 同時受賞]



品目名 : ニチニチソウ
 品種名 : フェアリースター ホワイト
 受賞者 : サントリーフラワーズ株式会社(東京都)
 育成者 : 山田 将弘
 育成者権者 : サントリーフラワーズ株式会社
 審査講評 : 極小輪のニチニチソウ。分枝が良く株のボリューム、花数、連続開花性、ともに申し分がなく、株のまとまりが非常によく、草姿は丸くこんもりとまとまる。

ホワイトは赤いアイが入る。開花が始まってから長期間に渡って楽しめ、切り戻しの必要もない。誰にでも育てやすい品種としてベスト・フラワー（優秀賞）とグッドパフォーマンス特別賞を同時受賞した。



▲定植後14日の屋根付き施設での様子 (6/26撮影)



▲定植後45日の屋根付き施設での様子 (7/7日撮影)



▲定植後73日の屋根付き施設での様子 (8/4撮影)



▲定植後126日の屋根付き施設での様子 (9/26撮影)



▲定植後13日の露地花壇・群落植栽の様子 (6/5撮影)



▲定植後41日の露地花壇・群落植栽の様子 (7/3撮影)



▲定植後69日の露地花壇・群落植栽の様子 (7/31撮影)



▲定植後112日の露地花壇・群落植栽の様子 (9/5撮影)

ベスト・フラワー（優秀賞） [カラークリエイト特別賞 同時受賞]



品目名 : ペンタス
 品種名 : ラッキースター ダークレッド
 受賞者 : 株式会社エム・アンド・ビー・フローラ(山梨県)
 育成者 : Jaison Jandrew
 育成者権者 : Pan American Seed
 審査講評 : 花が葉に隠れず、バランスよく咲くペンタス。連続開花性に優れ、定植後花が休むことなく、観察期間中は常に良い状態の花を楽しむことが出来た。分枝も良く、コンパクトに安定した揃いの良い草姿で、安心して消費者におすすめる。

少し黒みがあったシックな深い赤い花色は、夏に楽しめるだけでなく、併せるものを変えれば、植えたままで秋らしい雰囲気の花壇に衣替えすることもできる。長期間楽しめることに価値を感じられる素晴らしい品種。

ベスト・フラワー(優秀賞)、カラークリエイト特別賞を同時受賞。

ベスト・フラワー(優秀賞)、カラークリエイト特別賞を同時受賞。



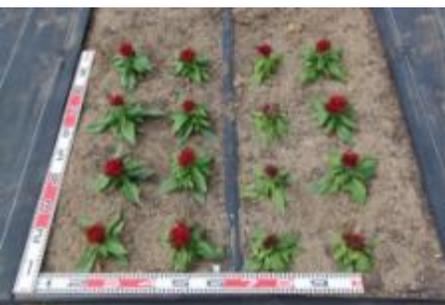
▲定植後21日の屋根付き施設での様子 (6/27日撮影)



▲定植後59日の屋根付き施設での様子 (8/4撮影)



▲定植後112日の屋根付き施設での様子 (9/26撮影)



▲定植後14日の露地花壇・群落植栽の様子 (6/20撮影)



▲定植後42日の露地花壇・群落植栽の様子 (7/18撮影)



▲定植後91日の露地花壇・群落植栽の様子 (9/5撮影)

ベスト・フラワー（優秀賞）



品目名：ペンタス
 品種名：ギャラクシー パープルスター
 受賞者：株式会社エム・アンド・ビー・フローラ(山梨県)
 育成者：Jaison Jandrew
 育成者権者：Ball Horticultural Company
 審査講評：

パープルの花型に沿って星形に白い色が入る覆輪の花がかわいい。高温期でも花の色むらなく、株の生育も安定していた。分枝もよい。

繊細な覆輪の花は、花壇だけでなく寄せ植えのような近くで観賞する用途にもよい。

明るい涼しげな花色でもあることから、夏花壇の素材として、安心して消費者にお勧めできる良い品種。



▲定植後21日の屋根付き施設での様子（6/27日撮影）



▲定植後59日の屋根付き施設での様子（8/4撮影）



▲定植後90日の屋根付き施設での様子（9/4撮影）



▲定植後14日の露地花壇・群落植栽の様子（6/20撮影）



▲定植後42日の露地花壇・群落植栽の様子（7/18撮影）



▲定植後91日の露地花壇・群落植栽の様子（9/5撮影）

ベスト・フラワー（優秀賞）



品目名：ニチニチソウ
 品種名：夏花火 ホワイトレッドアイ
 受賞者：株式会社エム・アンド・ビー・フローラ(山梨県)
 育成者：大屋寛高
 育成者権者：株式会社ミヨシ
 審査講評：赤目の小花と細い花弁の極小輪タイプ。多花性で連続開花性もある。丸いドーム型に生育するタイプだが、株に若干の凹凸が出た。生育は旺盛で、今年は雨が多かったが、立ち枯れも少なく、旺盛に生育し、観察期間中安定した花つきで楽しめた。育てやすい品種。
 ベスト・フラワー（優秀賞）を受賞。



▲定植後21日の屋根付き施設での様子（6/27日撮影）



▲定植後45日の屋根付き施設での様子（7/21日撮影）



▲定植後112日の屋根付き施設での様子（9/26日撮影）



▲定植後14日の露地花壇・群落植栽の様子（6/20日撮影）



▲定植後42日の露地花壇・群落植栽の様子（7/18日撮影）



▲定植後91日の露地花壇・群落植栽の様子（9/5日撮影）

カラークリエイト特別賞



品目名 : ペチュニア
品種名 : Yes! イエロー
受賞者 : 株式会社エム・アンド・ビー・フローラ
(山梨県)
育成者 : 大屋寛高
育成者権者 : 株式会社ミヨシ
審査講評 :

3~4 cmの小輪タイプの花をたくさん着ける。株張りよく、ボリューム感たっぷりに育つ。従来の黄色系品種に比べて濃い黄色であり、小輪の黄色品種としては新規性の高い品種。発色が良く、花壇を華やかにしてくれる。黄色品種は花色と葉色が似てしまうというが、葉色をバックにイエローのネオンカラーが良く映え、カラークリエイト特別賞を受賞した。



▲定植後1日の露地花壇・群落植栽の様子 (4/19撮影)



▲定植後27日の露地花壇・群落植栽の様子 (5/15撮影)



▲定植後91日の露地花壇・群落植栽の様子 (7/18撮影)

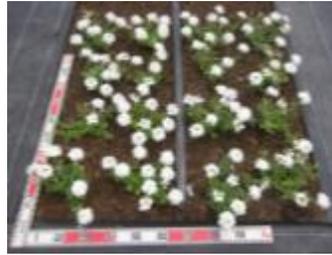
入賞



品目名 : バーベナ
 品種名 : 花手毬〜絢〜 ゆきのしろ
 受賞者 : サントリーフラワーズ株式会社(東京都)
 育成者 : 見里朝也
 育成者権者 : サントリーフラワーズ株式会社
 審査講評 : リニューアルされた「花手毬」シリーズ。ゆきのしろは、美しい純白の大きな花房。花壇を覆うように株が広がるタイプ。パウダーホワイトの花色は遠くから見ても光っているかのようなまばゆく上品な白色。花手毬シリーズすべてに言えることだが、満開を過ぎたら1度ピンチをすることをお勧めする。屋根付き施設内での鉢・コンテナ栽培では連続開花性もあり、パフォーマンスに優れていた。



▲定植後1日の露地花壇での様子 (4/19撮影)



▲定植後27日の露地花壇での様子 (5/15撮影)



▲定植後76日の露地花壇での様子 (7/3撮影)



▲定植後133日の露地花壇での様子 (9/5撮影)



品目名 : バーベナ
 品種名 : 花手毬〜絢〜 むらさきしきぶ
 受賞者 : サントリーフラワーズ株式会社(東京都)
 育成者 : 見里朝也
 育成者権者 : サントリーフラワーズ株式会社
 審査講評 : リニューアルされた「花手毬」シリーズ。むらさきしきぶは、赤みのある紫色。品種により草姿が少しずつ違うが、この品種は立性とはい性が混在するタイプ。連続開花性もある。満開を過ぎたら1度ピンチをすることをお勧めする。屋根付き施設内での鉢・コンテナ栽培では連続開花性もあり、パフォーマンスに優れていた。



▲定植後1日の露地花壇の様子 (4/19撮影)



▲定植後45日の露地花壇での様子 (6/2撮影)



▲定植後104日の露地花壇での様子 (7/31撮影)



▲定植後133日の露地花壇での様子 (9/5撮影)

入賞



品目名 : バーベナ
 品種名 : 花手毬〜絢〜 こいさくら
 受賞者 : サントリーフラワーズ株式会社(東京都)
 育成者 : 見里朝也
 育成者権者 : サントリーフラワーズ株式会社
 審査講評 : リニューアルされた「花手毬」シリーズ。こいさくらは、やや立性の性質もみられた。満開を過ぎたら一度切戻すと効果的。キュートで鮮やかなピンク色の濃淡と葉色も美しく、株の伸び具合はハンギングバスケットなどにも向く。屋根付き施設内での鉢・コンテナ栽培では連続開花性もあり、パフォーマンスに優れていた。



▲定植後14日の露地花壇での様子 (5/1撮影)



▲定植後27日の露地花壇での様子 (5/15撮影)



▲定植後76日の露地花壇での様子 (7/3撮影)



▲定植後133日の露地花壇での様子 (9/5撮影)



品目名 : バーベナ
 品種名 : 花手毬〜絢〜 うめかさね
 受賞者 : サントリーフラワーズ株式会社(東京都)
 育成者 : 見里朝也
 育成者権者 : サントリーフラワーズ株式会社
 審査講評 : リニューアルされた「花手毬」シリーズ。うめかさねはマゼンタがかった赤紫色。ピンチ後の回復がややゆっくりではあるが、旺盛すぎない草姿はハンギングバスケットなどにも使いやすい屋根付き施設内での鉢・コンテナ栽培では連続開花性もあり、パフォーマンスに優れていた。



▲定植後1日の屋根付き施設での様子 (4/19撮影)



▲定植後69日の屋根付き施設での様子 (6/26撮影)



▲定植後87日の屋根付き施設での様子 (7/21撮影) * 7/20ピンチ



▲定植後136日の屋根付き施設での様子 (9/8撮影)

入賞



品目名 : バーベナ
 品種名 : 花手毬〜絢〜 あかいろ
 受賞者 : サントリーフラワーズ株式会社(東京都)
 育成者 : 見里朝也
 育成者権者 : サントリーフラワーズ株式会社
 審査講評 : リニューアルされた「花手毬」シリーズ。あかいろは、鮮やかな朱赤が美しいが、色褪せも少なかった。株張りが大変よく、這う性質をうまく使うことで活用の幅が広がる。花手毬シリーズすべてに言えることだが、満開を過ぎたら1度ピンチをすることをお勧めする。屋根付き施設内での鉢・コンテナ栽培では連続開花性もあり、パフォーマンスに優れていた。



▲定植後3日の屋根付き施設での様子 (4/21撮影)



▲定植後49日の屋根付き施設での様子 (6/6撮影)



▲定植後87日の屋根付き施設での様子 (7/21撮影) *ピンチ7/20



▲定植後122日の屋根付き施設での様子 (8/25撮影) *ピンチ後36日



品目名 : カリブラコア
 品種名 : ティエルノダブル ピンク
 受賞者 : 松原園芸(群馬県)
 育成者 : 松原紀嘉
 審査講評 : ピンクの八重咲きカリブラコア。誰にでも好まれるピンク色。花後に種子がつかないので、株が長くもつ。下葉の枯れは少ない。寄せ植えやハンギングバスケットなどへの活用がしやすい、ほどよいサイズ感。



▲定植後6日の屋根付き施設での様子 (5/1撮影)



▲定植後24日の屋根付き施設での様子 (5/19撮影)



▲定植後42日の屋根付き施設での様子 (6/6撮影)



▲定植後62日の屋根付き施設での様子 (6/26撮影)

入賞



品目名 : マンデビラ
 品種名 : サマーティエラ ライトピンク
 受賞者 : 松原園芸 (群馬県)
 育成者 : 松原紀嘉
 審査講評 : 花卉が反り返りがかわいらしい淡いピンクのマンデビラ。

連続開花性は認められるが、露地花壇ではツルの伸びがあまり認められなかった。屋根付き施設内でのコンテナ・鉢植え栽培のほうが旺盛につるを伸ばし、パフォーマンスを発揮した。

数本の支柱程度の簡単なサポートでも育つタイプなので、単体で植栽するより、他の草花とあわせて利用するマンデビラとして提案をしてもよい。



▲定植後38日の屋根付き施設での様子 (6/2撮影)



▲定植後73日の屋根付き施設での様子 (7/7撮影)



▲定植後119日の屋根付き施設での様子 (8/22撮影)



▲定植後154日の屋根付き施設での様子 (9/26撮影)



ご存知ですか？このマーク。
「いい花の新基準。」
ジャパンフラワーセレクション。